

2022 年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成 実施状況

団体名	高麗川ふるさとの会	実施日	2022 年 4 月～2023 年 2 月までの 46 日間
代表者	三浦 輝夫	活動場所	坂戸市浅羽（高麗川／浅羽ビオトープ）
タイトル	清流高麗川プロジェクト		
活動目的	ふるさとの川整備事業において自然と触れ合い学習するゾーンとして位置づけられた浅羽ビオトープ周辺の環境整備と、高麗川周辺の豊かな自然が残る浅羽ビオトープ周辺をより多くの人に知ってもらうこと。		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・刈り払い機を使用した草刈り ・水路・散策路の清掃 ・野鳥・昆虫の調査研究 ・外来種（シンジュ・アレチウリ）の除去 ・広報「こまがわニュース」（毎号 200 部、A3 両面）を年 3 回発行・発送。浅羽ビオトープ駐車場の掲示板にも活動予定日とあわせて掲示し、一般参加者を募集 ・市役所ロビーにおいて会員が活動を通じて野鳥等を収めた写真の展示会 ・桜小学校の総合学習の一環で、児童とごみ拾い <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>草刈り作業</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>外来植物シンジュのひこばえ伐採</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>広報物の発送作業</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>広報「高麗川ニュース」</p> </div> </div>		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・環境は非常に改善され、またビオトープを訪れる市民も多くなってきて会の活動も認知されてきた。 		
苦勞した点・改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・活動に参加する会員の高齢化も進んでおり活動を継続していくのに苦勞している。 ・近年の気候の変化で冬季に水路が干上がることが見られるため、通年通水ができる方法を検討する。 		
最終助成決定額	156,000 円		

2022 年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成 実施状況

団体名	特定非営利活動法人 荒川流域ネットワーク	実施日	2022 年 5 月、6 月 5 日、8 月 26 日、9 月 3 日、 10 月 14 日
代表者	鈴木 勝行	活動場所	川越市、狭山市、入間市、坂戸市、日高市、 飯能市、鶴ヶ島市、毛呂山町、ときがわ町、 嵐山町、東秩父村、川島町（入間川、赤間川 入間川第 2 用水、高麗川、葛川、都幾川、槻 川、瀬戸川、唐沢川、谷川、一ト市川、雀川、 田黒川、小畔川、南小畔川、北小畔川、霞川、 東大谷川、西大谷川、飯盛川）
タイトル	入間川一斉水質調査及びマップ作成		
活動目的	多くの方々に身近な河川に関心を持ってもらうため、当会設立から水質調査を行っている。水質調査の結果をマップ化して、荒川流域の環境団体、行政各機関、学校等に広く配布するとともにインターネット上で公開し、河川環境改善の啓発を行う。		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 25 団体、2 大学、2 個人で一斉水質調査を実施し、参加団体及び関連団体に早期にマップを配布、インターネット上（ホームページ、Facebook）で公開 ・ 2022 年度の調査結果を水質調査結果のグラフを表示するアプリ(Ar-WQ)に表示した。アプリは PC でもスマホでも利用できる（https://app.arakawa-ryuiki.net/wq/） ・ 本年度も特にアユの遡上調査を実施している入間川水系の調査に重点をおいた <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>都幾川鞍掛橋清流の郷にて</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>荒川流域一斉水質調査マップ 2022</p> </div> </div>		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加団体は、地域の河川の経年変化を把握し活動につなげている。結果をインターネット上で公開したので、関係者は早い時期に、結果を把握することができた。 ・ 「時系列グラフ付き水質調査マップ」の公開により、流域住民及び参加団体に貢献できた。 ・ 昨年度新規参加した現役世代の団体が継続して参加した。 		
苦労した点・改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 従来に比べて本年度は画像の提供が多かったが、メンバーが取水地点に分散するので、調査地点での撮影に苦労していると思われる。 		
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス禍の影響により配布が一部不可能となったため、マップの印刷部数を 700 部から 500 部に減らした。 ・ 新規参加の団体分、取り換えが必要な団体分の EC メーターを 12 台購入した。 		
最終助成決定額	165,740 円		

2022年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成 実施状況

団体名	埼玉県立総合教育センター 江南支所	実施日	2022年10月2日
代表者	福沢 景	活動場所	川越市（荒川／三ツ又沼ビオトープ）
タイトル	三ツ又沼ビオトープ保全管理		
活動目的	高校生が入間川流域の現状を知ること、河川環境の未来を考えるきっかけにしていくこと。事業了後も継続的に自然を守っていこうとする人材（環境サポーター）の育成に繋げること。		
活動内容	<p>・ 自生する植物の観察、外来種の駆除</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>外来種の駆除作業</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>外来種の駆除作業</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>活動紹介パネル</p> </div> </div>		
活動の成果	・ 参加生徒が積極的に外来種の駆除をしていた。また、活動後も自然保護や外来種に興味を持ち、多くの生徒が今後も環境保全活動をしていきたいと語っていた。		
苦勞した点・改善点	・ 「高校生が考えるビオトープ」として、今後の生態系を考える時間の確保が必要である。		
最終助成決定額	126,732 円		

2022 年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成 実施状況

団体名	狭山市立入間川小学校	実施日	2022年5月24日、7月9日、11月15日
代表者	伊藤 秀一	活動場所	狭山市（入間川）
タイトル	ぼくたち、入間川探検隊！		
活動目的	コミュニティスクールとしての地域の協力や結びつきの強さを生かし、「総合的な学習の時間（ゆりの木学習）」を中心に、隣接する入間川で観察や自然体験を行い、入間川や地域の自然への愛着を育む。		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入間川の自然観察（草花、河原の岩石、野鳥） ・ 入間川の水質検査、カヌー体験、水棲生物調査、清掃活動 ・ 体験によって興味を持った分野の専門家による講義 ・ 学習発表会（一年の学習の成果を保護者や地域の方に向けて発表） <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>水質調査</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>水質調査</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>魚類調査</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>専門の先生による講義</p> </div> </div>		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供たちは、入間川周辺の自然環境の観察や調査、体験活動を通して、自然環境と向き合い、自分で課題を見つけ探究することができた。また、自分の考えや思いを相手に的確に伝えようとする態度や能力を高めることができた。学習を通して自分の故郷に誇りを持ち、豊かな環境の中に生活できる自分を見つめることができた。 		
苦勞した点・改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の安全を守るために、雨や、気温、当日の入間川の水位に影響されやすい学習であること。 		
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 謝金を予定していた漁協指導による地引網体験が中止になった。 		
最終助成決定額	10,120 円		

2022 年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成 実施状況

団体名	特定非営利活動法人 荒川の自然を守る会	実施日	2022 年 4 月 1 日～2023 年 2 月 28 日までの 月 2 回程度
代表者	木ノ内 勝平	活動場所	上尾市・川島町・川越市（荒川/三ツ又沼ビオ トープ）
タイトル	三ツ又沼ビオトープの自然環境管理作業		
活動目的	貴重な自然環境の保全、保護と同時に育て増やす活動として地域の在来野草の種子からの育苗と移植活動にも力を入れる。		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外来種駆除、在来野草群落を回復するための除草 ・ 種子から育てた在来野草の苗の移植を随時実施 ・ チェーンソーや刈り払い機による管理作業、万が一に備えて保険の充実 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>草刈り作業</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>つる草をレーキではがす作業</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>火入れ準備</p> </div>		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ チェーンソーおよび刈り払い機による作業が大幅に増加しているが、従事者は保険のおかげで安心して作業ができています。 		
苦勞した点・改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会員の年齢が上がってきており、今までのようには作業が進まない。在来野草群落保護のための作業も各自帰宅後に作業してもらうなど工夫が必要。 ・ 広い面積を効率よく管理するため機械に頼らざるを得ない。そのための燃料費が年々増加し続けている。 		
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予定していた粉碎機を用いた枯竹整理ではなく、草刈りの追いつかない場所を乗用草刈り機での刈り取りに変更した。 ・ 消耗品費などの費目に費用がかかったため、機械取り扱い講習は受講しなかった。 		
最終助成決定額	190,000 円		





2022年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成 実施状況

団体名	上尾の自然を守る教職員の会	実施日	2022年5月8日、10月23日 2023年1月7日
代表者	赤羽 栄子	活動場所	上尾市・川島町・川越市（荒川/三ツ又沼ビオトープ）
タイトル	三ツ又沼ビオトープの自然環境を楽しむ会		
活動目的	自然離れしている若い親子が、楽しく自然に接する体験をサポートする「親子自然塾三ツ又」を企画し、豊かな心を育んでもらう。		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・動植物に詳しい講師による、楽しみながら学べる自然観察イベント ・他団体と協力した、三ツ又沼地域の調査・自然保全活動 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>自然塾「土手で草つみ、草遊び」</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>自然塾「秋の虫観察」</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>購入した鋸・替え刃</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>管理作業</p> </div> </div>		
活動の成果	・リピーターの参加が増加した。		
苦勞した点・改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・観察会で机を用意し、ルーペや顕微鏡等を使って細かい部分も観察できるようにしたいが、時間的余裕とコロナ対策が出来ず躊躇してしまう。 ・会員の高齢化でスタッフの人数が減ってきた。 		
特記事項	・9月の自然塾が台風により中止になったため、報奨費（2万円分）をロープや鋸の替え刃などの管理作業用具代に振り替えた。		
最終助成決定額	110,000 円		

2022年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成 実施状況

団体名	特定非営利活動法人 はとやま環境フォーラム	実施日	2022年10月27日、11月1日
代表者	愛場 謙嗣	活動場所	鳩山町（唐沢川）
タイトル	鳩山における自然環境調査保全活動		
活動目的	自然豊かな里山に造られたゴルフ場の散布農薬による自然環境の変化を継続監視（モニタリング）することを通して、多様な生態系の再生とより安全な暮らしの確保に向けての基礎データを蓄積する。		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報公開で得たゴルフ場での農薬散布計画書に基づき、今年度も昨年度と同様、採水直前に散布されたメタラキシル、ホセチル、シクロスルファミロンの3成分の残留分析 ・ 計量分析結果を住民自治体広報誌に掲載 ・ 鳩山町主催「はとやま祭り&文化祭」、環境フォーラム主催「エコフェスタ比企 in 鳩山」でパネル展示を行った。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>採水の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>「エコフェスタ比企」でのパネル展示</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>残留農薬計量証明書</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>自治会だより</p> </div> </div>		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ いずれも検出限界以下の「0.001mg/リットル未満」で、一括分析できる25検体について流出を示す有効数字は認められなかった。 ・ 残留分析実績などを示し、鳩山町に、条例に基づいて農薬成分独自調査の採水時期を改善するよう要望した結果、昨年の12月末から11月上旬に改善された。 		
苦勞した点・改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各ゴルフ場提出の計画書記載の散布農薬量・種類・散布時期と散布実績との大幅なずれが続いており、実態を検証し、調査方法の改善と行政への改善提言にいかしたい。 		
最終助成決定額	79,940 円		


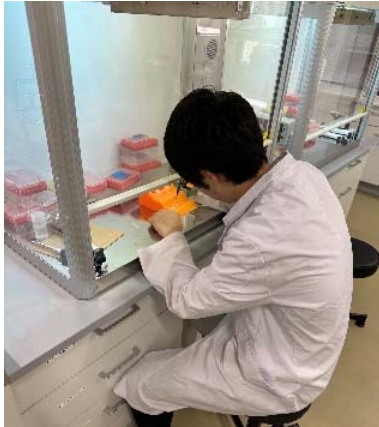
2022年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成 実施状況

団体名	SUN JOY 南小畔川	実施日	2022年6月19日、9月7日、12月14日、 2023年1月8日、2月26日
代表者	安原 昭司	活動場所	川越市（南小畔川）
タイトル	アレチウリ駆除と、海プラごみ防止活動		
活動目的	日本古来の草花の保護活動、プラごみを海に流さない、水害対策。		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定外来種アレチウリの駆除。 ・ 増水時に水流を阻害しないための雑木処理。 ・ 河川のプラごみ回収。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>アレチウリ駆除</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>雑木処理</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>購入したノコギリ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>購入した長靴</p> </div> </div>		
活動の成果	・ 活動を始めて、初めて自治会会長と自治会環境部の方の参加があった。		
苦勞した点・ 改善点	・ アレチウリ駆除とプラごみ回収は人手が必要のため地元住民の参加を目指していく。		
特記事項	・ 今年は中止になったが、団体の活動のPRの機会を改めて設けてほしい。		
最終助成決定額	49,206 円		

2022 年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成 実施状況

団体名	埼玉県立いずみ高等学校	実施日	2022 年 11 月 2 日、2023 年 3 月 19 日
代表者	小川 剛	活動場所	上尾市・川島町・川越市（荒川／三ツ又沼ビオトープ）
タイトル	三ツ又沼ビオトープ環境保全活動		
活動目的	荒川上流河川事務所、日本生態系協会、あらかわ市民環境サポーターの協力により、実践的な環境保全活動を体験すること。また、授業終了後もボランティアとして環境保全に取り組める生徒を増やすこと。		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・生物サイエンス科 2 年生の「生態学基礎」の授業の一環として、三ツ又沼ビオトープで環境保全活動 ・在来草本植物の生態調査、希少植物の保全活動 ・帰化植物（ヒガンバナ、ショカツサイ）の抜き取り <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>希少植物の発芽を促す湿地の天地返し</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>三ツ又沼ビオトープでの活動</p> </div> </div>		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の自然環境が直面する問題を直に見て、その解決に向けた活動を行うことで、より身近な問題として「自然環境保護」を考えることができた。 ・帰化植物の抜き取り作業では、人里植物で史前帰化植物の扱いについて様々な考察ができるため、生徒が考えるきっかけとなった。 		
苦勞した点・改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は対象学年を 2 年生に限定せず、2 年生 1 回、3 年生 1 回と公募による参加 1 回とし、授業や計画に負担のかからないような工夫を検討している。 		
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの関係で対象クラスの学級閉鎖等があり、実施回数を 3 回から 2 回へ変更した。 ・関係団体との日程調整の結果、2 月中に予定をしていた活動が 3 月の実施となった。 		
最終助成決定額	97,900 円		

2022 年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成 実施状況

団体名	城西大学	実施日	2022 年 5 月 30 日～2023 年 2 月 14 日
代表者	藤野 陽三	活動場所	東松山市、鶴ヶ島市、日高市、毛呂山町、越生町、鳩山町（高麗川・葛川・越辺川・唐沢川・小畔川の支流や水路）
タイトル	ホトケドジョウの生息地を環境 DNA で探る		
活動目的	県のレッドリストで絶滅危惧 IA 類に指定されている本種の生息地調査をより広範囲に行っていくため、越辺川水系の生息可能性のある地点を 20 ヶ所選定し、現地調査の補完として環境 DNA 分析を実施する。		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・コンタミネーションに十分に注意しながら、各地点で 1L 採水し、DNA の劣化を制御して研究室に搬送後、ろ過・DNA の抽出を行った。 ・抽出された DNA を鋳型に、ホトケドジョウの DNA を特異的に増幅するマーカーを用いてリアルタイム PCR 装置による在・不在の判定を行った。 ・採水地点の一部は、地元有志の方々とガサガサなどによる捕獲調査を行い、結果を突き合せた。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>環境 DNA 分析のための採水</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>実験室にて環境 DNA 検出実験作業</p> </div> </div>		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・「ホトケドジョウ調査会」と引き続き連携し、採水地点の選定、採水時に捕獲調査を行うことで、環境 DNA の分析結果と捕獲調査結果の比較ができ、環境 DNA の正確性なども再確認できた。 ・2021 年度活動助成金で得られた成果は、今年度「日本陸水学会」において口頭発表を行った。また、学術誌「野生復帰」に投稿した（3/31 発行予定）。 ・関係自治体などにホトケドジョウの生息する良質な環境を保全するための提言を行う予定。 		
苦勞した点・改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・採水と捕獲調査を同時にできた地点が少なかった。今後は環境 DNA が検出された地点を優先して捕獲調査を行っていく。 		
最終助成決定額	200,000 円		

2022 年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成 実施状況

団体名	川島町立つばさ南小学校	実施日	2022年5月12日、9月29日、12月8日
代表者	山崎 清美	活動場所	川島町(入間川、荒川/三ツ又沼ビオトープ)
タイトル	大好き川島!～守ろう 川島の緑と水～		
活動目的	3年生の総合的な学習の時間に、「大好き川島!守ろう 川島の緑と水」というテーマを設定し、本町の境に位置する三ツ又沼ビオトープを活動拠点として、荒川の自然を守り育てる大切さを学ぶこと。活動を通じて、地域や自然を愛する心を育むこと。		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ユウガギクの種まき、育成 ・江戸川区立小松川小学校、川島町立つばさ北小学校と連携したカワラナデシコの育成、植え戻し ・三ツ又沼の自然観察 ・まとめの発表会 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>自然観察会</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ユウガギクの種まき</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>カワラナデシコの植え戻し</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>江戸川区立小松川小学校、川島町立つばさ北小学校とのオンライン交流会</p> </div> </div>		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・3校での交流を通じて子供たちのなかの、「自然を守ろう!草花を育て、増やしていこう!」という思いを実践につなげることができた。 ・本校の活動について発表する際に、ビデオカメラで撮影した動画を使用することで、より詳しく内容を伝えることができた。 		
苦勞した点・改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の入れ替わりも多いため、うまく引き継ぎが行えず、スムーズに活動が行えない現状となっている。 		
最終助成決定額	92,600 円		